

教科名	国語	学年	第1学年	教科担当者：戸部 香織
-----	----	----	------	-------------

《学習目標》

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。 (1) さまざまな種類の情報の内容を素早く理解し、目的や場面に応じて表現する力をつける。 (2) 様々な手段を用いて情報を得て、自分の考えをまとめ、表現する力を身に付ける。 (3) 広く考えるための題材を得る方法を習得し、応用する力を身につける。
--

《年間授業実施計画》

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4	・学習のオリエンテーション	・1年間の目標をたて、学習の仕方や評価について理解する。	・1年の国語の学習目標を理解しよう。
5	・ふしぎ	・内容を踏まえて音読をする。詩の表現技法について理解を深める。	＜詩の学習のポイント＞
6	・桜蝶	・文章の構成や展開、表現の効果について考える。	・表現技法をしっかり押さえましょう。
7	・自分の脳を知っていますか	・題名と本文の内容、「問い」と「答え」に着目して文章を読む。	・音読をしながら、詩のリズムに慣れましょう。
8	・文法：言葉の種類	・物語が作られた背景を知り、読書への関心を深める	＜説明的文章のポイント＞
9	・ベンチ	・字形を整え、バランスを整えて書く。	・文章の書き方（構成）を理解しよう。接続詞や文末表現に着目すると、理解しやすいです。また、問と答えを探しながら読んでいき、筆者の主張を捉えましょう。
10	・硬筆	・詩の内容を生かすように音読をする。	＜文学的文章のポイント＞
11	・河童と蛙	・メディアリテラシーについて理解し、身近なメディアについて話し合う。	・登場人物と場面展開を整理しましょう。
12	・写真で事実を表現する	・自分のおすすめの本を紹介し合い、本に対する興味関心を高める。	・ヒントはすべて本文の中にあります。細かい言葉や語彙に着目し、わからない言葉は調べながら、読み進めていきましょう。
1	・ビブリオバトル	・作品の構成や展開、表現の特徴をつかむ。	＜古典のポイント＞
2	・オツベルと象	・川柳や昔話を読み。古典には様々な種類があることを知る。	・詩と同じく、音読が大切です。古典特有の読み方や、リズムに慣れましょう。
3	・昔話と古典	・古典の歴史的仮名遣いに注意して音読をする。	・その古典が書かれた時代に着目すると、より深く学ぶことができます。
4	・物語の始まり	・「矛盾」の内容を捉える。返り点について理解する。	＜書き初め、硬筆のポイント＞
5	・故事成語	・近代小説の代表作家について知る。	・お手本を見て、忠実に文字を書きましよう。字形、バランスを整えて書く練習です。
6	・文法：文節・単語	・日常生活の中から話題を決め、調査した資料を比較する。	＜文法学習のポイント＞
7	・蜘蛛の糸	・問題提起と答えを読み取り、説明文の構成をつかむ。	・復習をしっかりし、細かい用語を覚えましよう。見分け方を覚えるといでしょう。
8	・意見文を書こう	・字形、バランスを整えて書く。	
9	・言葉がつなく世界遺産	・目的に合った情報を選び、書く順序を考え、読み手の立場にたって、文章を書く。	
10	・書き初め	・言葉の単位、文の成分、自立語、付属語について理解する。	
11	・読み手を意識した報告文を書こう	・構成の型の種類を知る。	
12	・文法：品詞の分類	・登場人物と場面の移り変わりを理解する。	
1	・熟語の構成	・情景描写に着目する。	
2	・少年の日の思い出	・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて、考えをまとめる。	
3	・持続可能な未来を創るために ～人の暮らしを考える～		

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	言葉の働きや、漢字、語彙、文や文章に表れた言葉遣いや、表現技法を理解し、語彙を豊かにすることができる。また情報を分類、比較したり、古典について親しんだりすることができる。 評価方法：ペーパーテスト、小テスト、普段のノート・ワークシート、書写等
観点2	話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと分野において、構成を捉えたり、自分の伝えたいことを整理したりすることができる。また、自分の言葉で表現することができる。 評価方法：普段のノート・ワークシート、ペーパーテスト、スピーチ、作文等
観点3	国語についての見方、考え方を広げ、深めようとしている。また、積極的に自分の意見を表現しようとしている。 評価方法：普段の授業の様子、ワークシート等

《教科の約束事》

- ① 授業では積極的に挙手をし、意欲的に授業に取り組みましょう。
- ② 授業では、チャイムが鳴る前に準備を終えて着席しましょう。
- ③ 他の人にしっかりと伝わる話し方をしましょう。（他の人に届く声で、簡潔に）
- ④ 他の人の発言はしっかり聞きましょう。（誰かが話をしようとしたら注目して聞く。）
- ⑤ 授業プリント、ワーク、ノート等の提出物は決められた日に提出しましょう。

【持ち物】

- ・教科書 ・ノート ・ファイル（プリントをとじたもの） ・国語便覧
- ・国語の学習 ・文法ワーク ・漢字ワーク ・筆記用具

《指示があったときに持ってくるもの》

- ・書き初めセット ・硬筆用のペン ・書写の教科書等 ・国語辞典

※教科担当の指示をよく聞いてください。